

# 市議会定例会

平成20年第4回常陸大宮市議定会例会が、12月2日から18日まで開会されました。この定例会では、次の議案の審議が行われ、それぞれ認定、可決及び同意されました。

## 市長提出議案

### 歳入歳出決算

○平成20年度那珂地方公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定について

### 条例

○常陸大宮市移動通信用鉄塔の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市移動通信用鉄塔施設整備事業分担金徴収条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市介護保険条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市簡易水道事業設置条例等の一部を改正する条例

## 契約

○(仮称)御前山小学校屋内運動場新築工事請負契約の変更契約の締結について

## 平成20年度補正予算

○常陸大宮市一般会計補正予算ほか特別会計等(8会計)補正予算

## 人事案件

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて  
・野澤 知行(辰ノ口)

○教育委員の任命について  
・根本 淳子(山方)  
・高沢たか江(小田野)

## その他

○茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について  
○字の区域の変更について



## 緒川郷土文化研究会の

### 長年の活動に表彰状

11月15日、近代美術館において県芸術祭・県文化芸術功労者・茨城文化団体連合功労者表彰授賞式があり、緒川郷土文化研究会(小林茂会長)が、平成20年度茨城県文化芸術功労者として県知事から表彰されました。



緒川郷土文化研究会は、昭和39年に地域の歴史や文化を研究している人たちにより設立されました。

また創設以来、機関紙「おがわの文化」を定期的に発行し、緒川地域の全世帯と茨城県立歴史館等の県内の文化施設に配布し、地域の文化向上に努めたことが評価され、今回の受賞となりました。現在会員数約50人で活動しています。

常陸大宮市が誕生してから、他地域との情報交換や交流が活発になったこと。市の文化発展のためさらなる活躍が期待されます。

## 秋の味覚がいっぱい

11月22日、緒川物産センター「かざぐるま」で特産品まつりが開催されました。

会場では、地元特産のしいたけや万能たれ、厚焼き玉子、自然薯等の販売のほか、きのこ汁、おしるこ、たまごかけご飯等の無料配布があり、長蛇の列ができました。

また、杵つきもちの実演後、できたてのおもちが配布され、多くの方で賑わいました。



## ～お詫びと訂正～

「広報常陸大宮12月号」8ページ中の「善意をありがとう」の記事の中で、誤りがありました。

お詫びして訂正します。

浜ちゃんコンペ

誤 金200,000円  
正 金210,000円

## 新そばまつりINみわ

11月23日、みわ★ふるさと館北斗星・道の駅みわで行われた新そばまつりでは、そば打ちの無料体験、けんちんそばやそばの実汁粉の試食、そばの早食い競争等のイベントが催され、市内外からたくさんの方が訪れました。



また、毎年恒例となった全日本人そば打ち名人の益子正巳さんが見事な手さばきを披露。こねたそば粉を実際に触って感触を確かめたり、質問をしたりしながらたくさんの方が熱心に見学していました。



## 保健と福祉の祭典

11月30日、第4回常陸大宮市かがやきまつりが、総合保健福祉センターかがやきとおみやコミュニティセンターで行われました。

はじめに行われた式典では、保健衛生功労者12人の方々の表彰が行われ、ふれあいステージでは太鼓やコーラス、健康劇等が披露されました。

今回はじめて、肩こりや腰痛と付き合いながら転倒を防ぐ体操を行った「転倒予防教室」、チューブ、ラダーを使った「ストレッチ」、2本のポールを使って歩く「ノルディックウォーキング」の3つの運動教室が催されました。また、健康食を意識した「そば打ち体験コーナー」では、講師の指導のもと、受講生は熱心に麵棒を動かしていました。



## 立派に育ちました

12月7日、東京都江東区夢の島公園において、公園内熱帯植物館が募集した自然薯オーナーによる自然薯収穫祭が行われました。

冬晴れとなったこの日、寒風が頬に冷たい中、オーナーの待ちに待った自然薯の収穫が行われました。公園内での栽培は初めてで、6月の種芋の定植の際指導にあたった緒川自然薯研究会の会員も、掘って見ないと分からないという不安がありました。

しかし、名前入りのタグの着いた枯れたツルを頼りに掘り始めると、あち



こちらから「すごい」「長い」などの歓声や拍手が上ががり、ほ場内は大変な熱気で盛り上がりました。

収穫後は調理の仕方や試食会を通して、会員とオーナーの交流を深める中で、常陸大宮市の自然のすばらしさや特産品などの話題も出ていました。

## いっしょにまちづくり

～「西塩子の回り舞台」の組立て  
大学生ボランティアに感謝～  
西塩子の回り舞台保存会若衆頭  
横山不二夫さん（西塩子在住）



第23回国民文化祭が茨城県で開催され、常陸大宮市では西塩子の回り舞台が開会式のサブ会場として、また国民文化祭のイベントのひとつである地芝居の公演が催され、全国から多くの観客が来場しました。おひねりも飛び交うなど、拍手と掛け声で会場は賑わいました。

舞台の組立てにあたっては、茨城大学人文学部のゼミの先生と学生20数名にボランティアで参加いただきました。竹きりや運搬、そして舞台の組立てと、力が必要な作業も多くありましたが、女子学生も二人がかりで重い竹を運んだりして、思っていたより短期間で立派な舞台を組み立てることができました。公演当日も舞台襖入れ替えなど、裏方として汗を流していただき、茨大の先生と学生に感謝の気持ちで一杯です。

※市と茨城大学とは相互に連携協力して「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」を目指して各事業に取り組んでいます。

安全なまちに

11月25日、ジャスコ常陸大宮店店舗入口と同店前国道118号において安全なまちづくりキャンペーンが実施されました。

当日は、茨城県、大宮警察署をはじめ大宮地区防犯協会、大宮地区交通安全協会など関係団体の協力のもと、「犯罪の防止」「交通事故防止」などを呼びかけながら、チラシや啓発物を配布し、地域安全を呼びかけました。



更なる安全・安心の街へ

現在使用の西消防署の救急車が老朽化のため更新配備し、11月26日より運用が開始されました。高規格救急車は高度化が進む救急業務に対応し、救急救命士等の隊員が高度の応急手当を実施できる車両です。これらの車両の運用による更なる救命率の向上が期待されます。



「緊急経済・雇用相談窓口」開設

市では、12月25日から経済部商工観光課に緊急経済・雇用相談窓口を開設しました。

世界的な金融危機の影響により、国内の経済情勢が急激に悪化し、常陸大宮市においても中小企業等の経営や雇用不安が拡大しています。そのような経済状況を踏まえ、常陸大宮市緊急経済・雇用対策本部を設置し、市民生活の安定と地域経済の活性化を目指し相談を行っています。

開設時間は8時30分から午後5時15分まで。



問い合わせ先

本庁 商工観光課 ☎52-1111 (内線272・273)

閉校する校舎に感謝して

11月、御前山地域の各小学校では閉校記念事業の一環として地域の人たちが参加し交流会が行われました。

11月2日・伊勢畑小学校

「いせはたふれあいまつり」

地域の高齢者や保護者を招いて児童の発表などを行いました。

また、大正から現在までの思い出の写真を展示しました。



11月29日・野口小学校

「野口小ふれあいまつり2008」

16人もの外部講師を招き、料理教室や宇宙の授業、自然災害科学実験教室等が行われ、地域の人たちとの交流会を行い、児童が育てた草花の苗を地域の人たちに贈呈しました。



11月30日・長倉小学校

「産土(うぶあな)まつり」

10月2日から練習を積んできた和太鼓演奏の発表を行い、収穫した古代米のおにぎりや縦割り班で育てたさつまいも等を地域の方と食べました。



水郡線を利用して

今年で2年目となる水郡線を利用した「常陸大宮市民号」を、12月6日と10日に実施しました。



▲出発前のテープカット

この事業は、市民相互の親和と水郡線の活性化、そして、利用促進を図ることを目的として実施していて、2日間で250人の市民の皆さんが参加し、運行しました。

東京都明治座での中村玉緒主演「女の居場所」の観劇を楽しむとともに、行き帰りの電車の中で参加者間での親交を深めることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

また、今回の「常陸大宮市民号」では、参加者全員に水郡線を利用していただき、日ごろあまり水郡線を利用することのない参加者の中からは、「朝

と夜の利用者の多さに驚いた「高校生がこんなに利用しているの」と驚きの声も聞こえ、「市民の足」としての水郡線の重要性を認識していただく機会にもなりました。



善意をありがとう

順不同・敬称略

《奨学基金へ》



(有)瑞穂農場  
代表取締役会長 下山 好夫  
金500,000円

《常陸大宮市へ》



フジノン水戸株式会社  
代表取締役社長 淡嶋 義利  
AED(自動体外式除細動器)3台



車に乗ったらシートベルト

常陸大宮市ネットワーク協議会ヤッホーふれあいの会では、毎月シートベルト着用調査をJR山方宿駅前で行っています。

◎10～12月調査分

調査日	運 転 席			助 手 席			合 計		
	台 数	着 用 数	着 用 率 (%)	台 数	着 用 数	着 用 率 (%)	台 数	着 用 数	着 用 率 (%)
10月2日	225	214	95.1	41	21	51.2	266	235	88.3
11月4日	192	181	94.3	19	14	73.7	211	195	92.4
12月1日	185	170	91.9	32	27	84.4	217	197	90.8

わたしたちがつくるまちの姿 —常陸大宮市市民憲章—

常陸大宮市は、緑豊かな自然環境に恵まれ、すばらしい歴史と文化のもとで発展してきました。わたしたちはこの自然、歴史、文化をいかし、安全で、快適で、活力あるまちを、みんなの手でつくります。

- 一. 豊かな自然をいつくしみ、安らげるまちをつくります。
- 一. 歴史と文化を大切に、誇り高いまちをつくります。
- 一. 一人ひとりが知恵を出し、暮らし、仕事、いのちが輝くまちをつくります。
- 一. さまざまな人たちとの出会いと交流が楽しめるまちをつくります。
- 一. 尊重しあい、助けあい、みんなの未来をひらくまちをつくります。